

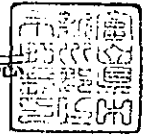


上 建 第 468 号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

上市町長 伊 東 尚 志



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、別紙のとおり回答いたしますので、よろしくお願いいたします。
します。

「道路特定財源に関する基本方針」が閣議決定され、これまでの道路特定財源を「一般財源化」することが政府の方針として示されました。

地方においては、道路整備はまだ不十分であり、依然、道路整備に対する多くの要望が寄せられているのが現状であります。

1 道路特定財源の一般財源化については、極めて厳しい地方財政及び地方の道路整備の状況、地方では道路予算の約6割を一般財源と借入金によって賄っている実態等を踏まえ、地方税財源の拡充を要望します。

2 地域間格差是正の観点から、大都市に比べ遅れている地方部の道路整備の需要に十分配慮し、道路予算の確保を要望します。

3 地方が自主的に使える地方道路整備臨時交付金制度の仕組みは、今後も維持し、更なる拡充を要望します。

4 道路整備にあたり必要となる地方負担の軽減平準化を図るため、地方道路整備臨時貸付金制度の継続を要望します。

今後の道路行政についての意見・提案
②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

富山県上市町

○ 現状	○ 課題
県都富山市への生活・通勤道路としてのアクセス道路において、交通量の増大、交差点部の右折車停滞により、交通渋滞が引き起こされている	県都富山市への生活・通勤道路として、主要地方道富山上市線(バイパス)および立山・上市横断道路等の幹線整備促進を図る。
主要道路において、歩車道分離が行われておらず、子供や高齢者など歩行者が危険にさらされている。	主要道路において、歩道を整備し、交通弱者、歩行者の安全確保に努める。
町部の南北を連絡する道路が、幅員の狭隘区間があり貧弱している。	町部の南北道路を都市計画道路として整備促進を図る。
山間地における幅員の狭隘区間や見通しの悪い箇所が多く、通行に多大な支障をきたしている。	山間地における道路を辺地対策道路として整備促進を図る。
高齢化する道路が増大しており、維持管理経費が増大している。	高齢化する道路ストックが増大することを踏まえ、維持更新需要の把握と維持管理経費の平準化を図る。

第6次上市町総合整備計画基本構想に掲げている「うるおい上市」を目指し、道路網整備につぎましては、景観・環境、防災、交通安全、高齢者や障害者・子どもへの配慮など、道路環境の質的な向上を図りながら、県都へのアクセス道路である主要地方道富山上市線(バイパス)をはじめとする広域幹線道路や町部の南北道路、山間部の連絡道路の計画的な整備を促進する。

また、長野県大町へのアルプス縦貫道路の整備に向け、要望を進めます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

富山県上市町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	主要地方道富山上市線道路整備の推進 (県都富山市と上市町を結ぶ極めて重要な幹線道路)	主要地方道富山上市線は、上市町から立山町、舟橋村を経て県都富山市へ東西に至り、古くから東部地域における産業経済の発展と地域間の交流を担ってきた極めて重要な幹線道路であります。この道路を整備することにより、地域住民の安全で快適な生活環境づくりをはじめ、地域産業の発展を図り、沿線の富山市、上市町、舟橋村が一体となり、地域の経済・社会活動を活性化させるとともに、地域住民の生活を支える最も基礎的な施設であります。	